

「都市鉱山開発事務所」とは？

クリーンセンターには、「都市鉱山開発事務所」があります。なんだか不思議な名前ですね。ここでは、廃家電製品に含まれるレアメタルや銅を資源として回収するため、搬入される粗大ごみや不燃ごみから、廃家電製品を取り出しています。その後、手作業で分解後に電動機、基板類などに選別し、専門の資源回収工場へ送られて資源化されます。



ていねいに分解して資源になる部分を取り出し、分別します。

ごみの中には、貴重な金属類がたくさん含まれているんだね。ごみは宝の山だね！



活動報告

新クリーンセンターに向けて検討が進められています

新クリーンセンターの検討では、運営協議会の地域住民代表も、施設・周辺整備協議会に参加しています。現在は、啓発施設「エコプラザ」(仮称)について議論しており、3月に提言としてまとめられる予定です。

●施設・周辺整備協議会の流れ

9/6	啓発施設についての視察 (用賀リサイクルセンター、世田谷ものづくり学校、アーツ千代田 3331、他)
9/25	第7回協議会(エコプラザ(仮称)の検討)
10/30	事業者選定委員会報告会 および環境影響調査結果報告会
11/19	第8回協議会 (エコプラザ(仮称)・エリア整備の検討)
12/23	市役所北エリアのタウンウォッチング

●事業者の入札公告が行われました

新クリーンセンターの建設をする事業者の入札公告が10月1日から23日まで行われました。この後、ヒアリングや審査が行われ、決定は平成25年3月の予定です。価格だけでなく経験や内容、技術なども考慮に入れて審査されます。

●生活環境影響調査の結果報告会の実施

生活環境影響調査とは、廃棄物処理法に基づき、施設が周辺地域の生活環境に及ぼす影響を建設前に行うものです。昨年一年間調査した結果の報告会が、周辺地域で行われています。この結果をもとに、地域の生活環境に配慮した対策を検討して、建設に反映されます。

- ▶都営武蔵野第3アパート集会所 12/8(土) 午後1時30分～
- ▶緑町コミュニティセンター 12/9(日) 午後2時～
- ▶けやきコミュニティセンター 12/11(火) 午後7時～
- ▶緑町パークタウン集会所 12/15(土) 午前10時～



●クリーンセンターの人事異動

平成24年10月1日付

名前	新	旧
守永知彦	環境部 クリーンセンター管理主査	子ども家庭部 子ども家庭課助成係主査
平松彩奈	環境部 クリーンセンター主事	都市整備部 建築指導課監察係主事

※平成24年10月1日付で、市の組織の変更により「環境生活部」が「環境部」と「市民部」に分かれました。これは、今年4月に策定された第五期長期計画における目的の一つである「持続可能な都市の構築」を推進するためです。都市整備部の中で市民に身近な環境施策を所管していた「緑のまち推進課(旧緑化環境センター)」と「下水道課」を加え、「環境部」として一体の環境行政を行います。

編集後記

前号から、本誌は二色刷りの誌面に生まれ変わりました。読み易くなったでしょうか。市内で唯一のごみ焼却場として、5年後(平成29年)にできる新クリーンセンターが、周辺のまち並みと調和して、他市にはない画期的な姿に変貌する、そんな夢を実現すべく、スタートしている新たな検討の内容やイベント情報を分かり易くお伝えして、ごみ減量や焼却の環境への影響など、関心を喚起する役割を果たしていきたいと思います。(狩野 耕一郎)

編集・発行/武蔵野クリーンセンター運営協議会

〒180-0012 武蔵野市緑町3-1-5 武蔵野クリーンセンター内
電話:0422-54-1221

●武蔵野市ホームページ
<http://www.city.musashino.lg.jp/>

武蔵野クリーンセンター 運営協議会 だより 53

武蔵野クリーンセンター運営協議会とは
1984年施設建設時に地域住民の安全と権利を守るために設置された
周辺住民3団体が参加するクリーンセンター運営の監視役。

CONTENTS

- P1... 緑と遊ぼう! 緑を知ろう!
- P2... 第5回むさしの環境フェスタに参加
- P3... 運営協議会バス研修会報告
- P4... 「都市鉱山開発事務所」とは?
活動報告
新クリーンセンターの検討が進められています 他

緑と遊ぼう! 緑を知ろう!

9月23日(日)クリーンセンターで、自然に親しむ運営協議会のイベント「緑と遊ぼう! 緑を知ろう!」を開催しました。敷地内の豊かな緑の中で行う予定でしたが、当日はあいにく大雨。それでも36名の親子や子どもたちが参加して、室内で木の葉や枝を使って図鑑作りや工作を楽しみました。

●よく見てさわって、図鑑作り

前半は、自然観察園などで集められた本物の木の葉や葉っぱを観察しながら木の図鑑作り。名前の由来や性質、人との関わりなど、自然塾スタッフのお話に、身近な樹木にあらためて興味がわきました。



よく見ると
おもしろいね
この木
知ってるよ

●選んで作って楽しい ネイチャークラフト

後半は見学者ホールへ移動して、いろいろな種類の木の葉や小枝を使った工作に挑戦。小さい子どもお父さんやお母さんと一緒にいくつも作りました。豊富な材料とていねいな指導で、大人も子どもも制作に熱中しました。



どれに
しようかな

いろいろな種類の木の葉がいっぱい! わくわくしながら材料を選びました。



お父さん
上手だね

材料を変えて
パンダやくまも
作りました。

小枝の鉛筆ブローチ

木の種類や数、色を変えてお好みのデザインに。本物の鉛筆みたい。

木の葉の図鑑

いろいろな素材選びが楽しい! 木の葉の名前も覚えられました。

バードコール

つまみを回すと鳥の鳴き声に似た音が...

工具の使い方も覚えたスーパー竹とんぼ作り。終了後に投入ステージで飛ばしました。



たくさん
作ったよ



スーパー 竹とんぼ

最後に作品を持ち寄り、みんな記念撮影。サンバイザーと鈴虫をお土産にもらって、子どもたちは大喜び。

第5回むさしの環境フェスタに参加

子どもたちの未来のために
広げよう! エコライフ

10月21日(日)クリーンセンターで、武蔵野市の環境イベント「むさしの環境フェスタ」が開催され、運営協議会も昨年に引き続き、「おもちゃのかえっこ」と「エコトレイン」に協力参加しました。当日は、フリーマーケットや緑町コミセンのふれあい祭りも行われており、よい天気にも恵まれて約1500名の人出がありました。

おもちゃのかえっこ

いらないおもちゃとほしいおもちゃをとりかえっこ。朝から大勢の親子がつかえ、おもちゃの山に子どもたちは大興奮。選ぶ目は真剣そのものです。



工場見学



武蔵野市のごみを処理について、工場内を見学しながら、わかりやすく説明を聞くことができます。今年も大勢の見学がありました(写真は、中央制御室を見学するようす)。この他に、検討中の新クリーンセンターのパネルやイメージ模型の展示もありました。

がらくたリンピック

空き容器を使って遊ぶ新登場のブースです。

ペットボトルとトイレットペーパーの芯を交互にいくつ重ねられるか挑戦!



空き容器等を使って楽器作り。完成した楽器でがらくたチンドン隊に参加する人もいました。



エコトレイン

今年もエコトレインがやってきました。イルカやトドなど海の生物の飾りをつけた車輜は、クリーンセンター構内ドルフィン駅~シーライオン駅の間を往復しました。各駅10分~15分待ちの大好評で、昨年を上回る約450名の親子が笑顔で楽しみました。また、簡単な環境クイズを通して、クリーンセンターについてわかりやすく学ぶことができました。

他にも、むさしのがらくたチンドン隊やスタンプラリー、武蔵野美術学園のシンボリックアート、地元商店街による飲食店、交流コーナー等...まだまだたくさんのブースがあり、来場者はクリーンセンター内をくまなく回って楽しんでいました。

環境フェスタは昨年より規模も大きくなり、クリーンセンターで開催されるようになりました。施設を知ってもらえる、環境に関する団体や市民の交流の場になる等、環境啓発に加えて相乗効果も期待されます。



ごみ投入ステージには、市内の環境に関する約30団体の展示が並びました。来場者は手作りの活動報告を熱心に見学し、ワークショップやクイズに参加して楽しみました。



キッチンマンもの知りしょうゆ館
東京都 水の科学館

緑町三丁目町会 狩野耕一郎

日本の代表的な調味料しょうゆに感動
もの知りしょうゆ館

今年のバス研修会は、10月28日(日)に人気のキッチンマン野田工場の「もの知りしょうゆ館」へ行きました。幼児から80歳を超えた方まで総勢71名。当日は休日のため、工場の生産ラインが稼働している様子は見られませんでした。案内係の人がおいしい醤油ができるまでの工程をやさしくわかりやすく説明してくれました。宮内庁へお納めするお醤油は、国産の大豆や小麦のみを原料とする野田! そうです。

参加者には漏れなく「特選 丸大豆醤油」の卓上瓶と「ふりかけの旨粒(うまつぶ)しょうゆ」1本をいただきました。お土産をたくさん買い込む人もいましたね。

水の不思議と大切さ
東京都 水の科学館

もう一つの施設は、「東京都 水の科学館」です。人はもちろん万物に必須の水について楽しく学べるためでしょうか。館内は幼稚園児や家族連れ等、いっぱいの人。実は参加者の中に、中学校時代の三年間、国語を教えてくださいましたA先生がいらしてビックリ。

水の循環を大型スクリーンで見る「水のたびシアター」は、内容的に今一歩で少々残念でしたが、水が水蒸気にも液体にも、そして固体にも変化する様を実験的に見せるイベントは、小学生たちの興味を引いていました。

大事な水、命の水、資源としての様々な機能を示す展示に、また新たな水への関心を呼び起こしてくれた見学でした。

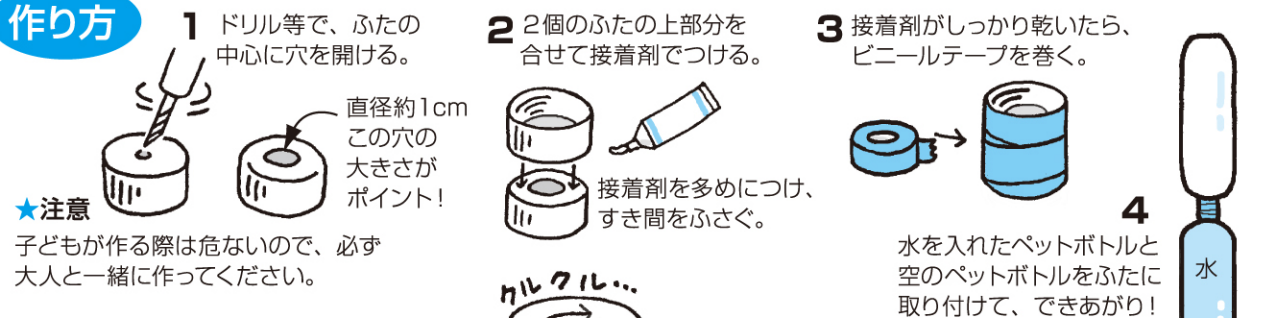
トルネード実験器を作ってみよう!

水の科学館資料より

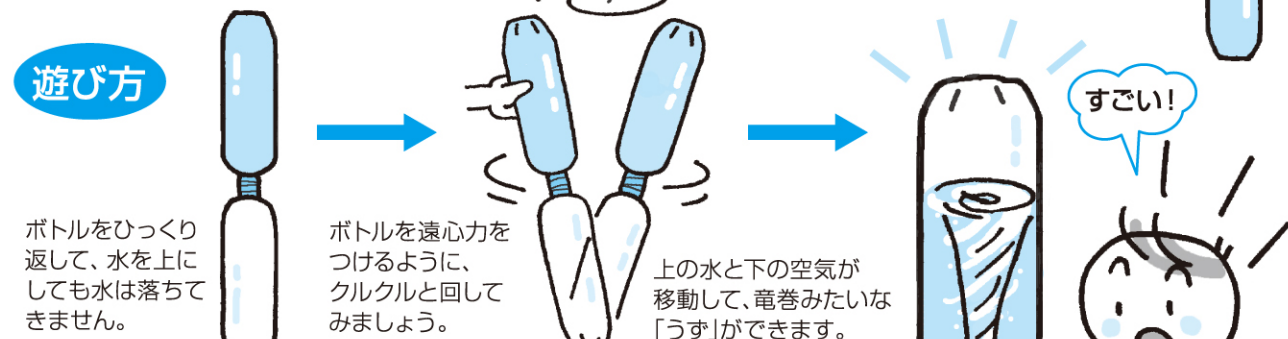
家庭でも簡単にできるペットボトルを使った実験をご紹介します。簡単ですが、中でできるトルネード(うず巻き)にちょっとビックリしますよ。

- ▶用意するもの
- ・ふた付きの炭酸水用丸形ペットボトル2個
 - ・接着剤(プラスチック用)
 - ・ビニールテープ
 - ・ふたに穴を開けるドリル等

作り方



遊び方



下のボトルを固定して、上のボトルを大きく強く回転させると、下のボトルから上に少しずつ泡が出てきます。この泡が、水の動きに合わせて少しずつ回転して「うず巻き」になります。

下のボトルの空気が流れ込み、その空気の圧力によって勢いよく水が流れて出ていきます。

この結果、上と下のボトルの間で、空気と水の移動がスムーズになり、水が短時間で落ちます。この現象を「トルネード(うず巻き)現象」といいます。

環境についての展示

